



じりっ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校

進路指導部 第 5 号

発行日 R2. 9. 1 (火)

2学期が始まります。9月は、体育祭・文化祭と行事が続きます。

(1・2年生へ) 7月三者面談を終えて、今、どのような勉強方法をしていますか？

毎日の学習スタイルを見つめ直そう！あなたの学習習慣を自己診断。

- 高校卒業後の進路を考えておらず、進路調べ・選択を後回しにしている。
- 受験勉強は、3年生になってから始めるつもりだ。
- 学習時間は、平日1時間・休日2時間以下だ。
- 宿題以外の学習は、ほとんどしていない。
- 英語や国語の辞書を引かない、引いても1つの意味しか確認しない。
- ノートは、板書だけを書いている。
- 古典の予習は、ほとんど何もしていない。
- 英語の平日の学習は、30分以下だ。
- 数学の宿題は、自力ではほとんど解けない、解かない。
- 数学の定期試験対策が不十分で、解けない問題はすぐにあきらめている。
- 定期試験や模試の後の復習は、ほとんどしていない。



スタディーサポートの分析より

1・2年生の秋以降に成績が、上昇した人の学習習慣とは？

● 目標を持って学習に取り組もう。

2年生の成績上昇者は、この秋から受験を意識した学習をスタート。1年生の上昇者は進路研究を丁寧に行い、目標を持って学習に取り組んでいます。

● 学習時間は、平日2.5時間以上、休日4時間以上が目標

2年生の成績上昇者の学習時間の目標は、平日2.5時間以上、休日4時間以上。部活動で忙しいという人も、時間の使い方を工夫しましょう。

● 英語・古典の学習は予習中心。～辞書やノートを活用！～

成績上昇者の英語や古典の自宅学習は予習が中心。

辞書で複数の意味や語源、例文なども確認することで、語句の理解が深まります。ノートには板書だけではなく、重要だと思ったことを書き込むことも大切です。

● 数学は日々問題を丁寧に。～自力で解けるまで！～

成績上昇者は、解けない問題はそのままにせず、確実に理解しようとしています。定期考査前は、できるだけ多くの問題を、解説に頼らず自力で解く努力をしています。



※ 1年生は2年後の、2年生は1年後の、自分の姿を想像してみよう！

(3年生へ)5日(土)体育祭を大切に迎えよう!

「クラス全員で取り組む」体育祭練習・本番も放課後自習も真剣に!この暑さで体調を崩している人はいませんか?

なかなか計画通りに進まないなと思っている人はいませんか?

本当に力がついているのかなあとと思っている人はいませんか?

成績の伸びが実感できるのは、これからです。高校生活最後の大きな行事である体育祭にむけて、「最高学年」としての責任を発揮する時です。体調管理に気を配りつつ、朝課外や授業・放課後自習に集中して、変わらぬ指高の学習サイクルを粘り強く続けていきましょう。「きついけど、頑張っけて乗り越えるぞ!」という雰囲気、学年全体・学級全員で作っていきましょう。

出願等に関してはミスのないように、早めの準備と細心の注意を払いましょう。



～学級の雰囲気づくりの重要性～

「志望校に合格する」という目標は、みな同じですが、入試の方法や時期は一人一人異なるため、学級の雰囲気が今までとは違ってくるのは、当然のことです。勉強の辛さや合否への不安から、心が折れそうになることもあるかもしれません。しかし、合格までの道のりが辛いのは皆同じことです。一緒に頑張る友達の姿に励まされることもあれば、自分自身が友達のやる気を喚起する、貴重な存在になるかもしれません。「受験は団体戦」という言い方をよく耳にします。学級全体で団結して、進路目標の達成を目指してほしいと思います。

「朝課外の遅刻・欠席」, 「授業中の居眠り」, 「教材等の忘れ物」は、学級の雰囲気を乱すことになりかねません。周囲への気配りを忘れず、一人一人の行動が、学級の雰囲気に大きな影響を及ぼすという自覚を持ちましょう。

～「模試の復習が実力をつける近道」 補強分野を明らかにしよう!～

模試の復習をしていますか?頑張っているのに思うような結果が出ず、焦りを感じている生徒もいるかも知れません。しかし、模試の結果に一喜一憂してはいけません。模試は弱点分野を明らかにし、入試本番までの課題を認識するために受けるものです。模試で解けなかった問題を復習して、弱点を補強していくことが大切です。9月12・13日(土・日)に、マーク模試があります。

2学期、特に10月からは模試が続きます。以下の点に注意して、模試を入試本番の予行演習として活用し、弱点補強につなげていきましょう。

① **模試を入試本番と考えて受験しよう。緊張感を持って、模試を受験しよう。**

② **時間配分を考えよう。**

見直しをすれば、簡単に防げるミスをしないためにも、模試において、時間配分に意識して取り組もう。

③ **記述模試では個別試験を意識して、より多く得点できる答案を作りましょう。**

1点を積み上げる、減点されない答案作成を意識しましょう。

④ **マーク模試を利用して共通テストに向けた自己採点を正確にしよう。**

解答番号を、問題冊子に必ず残すことが大切です。